

自己評価表を公表します

運動クラブ りずむ では、事業所が提供するサービスの質について、評価・点検をしています。

指定基準を満たしたうえで、より良いサービス提供を目指しお子様の幸せに貢献し続けるとともに、

自己評価結果を公表することで、みなさまに安心してご利用いただく一助となるためのものです。

なお、評価基準は、厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」をもとに独自の基準を設けています。

2018年 保護者等向け自己評価結果 〈放課後等デイサービス〉

●保護者等数（児童数） 46名

●回収数 44名

●割合 96%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	36	7	1	0	●もう少し広くても良いのかなと思う。 ●高学年には少し狭いかもしれません。 ●色々なプログラムが出来るよう工夫されていると思います。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	44	0	0	0	●子供の人数に対して十分だと思います。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	27	5	5	7	●事業所内は配慮されているが、建物の階段に手すりがない。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	40	1	0	3	●見学時や契約時に話した内容、フェイスシートに記載した内容を踏まえて作成されています。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	42	1	0	1	●活動内容や運動プログラムがたくさんあり、楽しんでいます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	0	12	26	
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	42	1	1	0	●契約時に書面と口頭で詳しく説明がありました。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	42	1	0	1	●連絡帳や送迎時にも詳しく聞くことが出来ています。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	36	2	1	5	●電話や面談で相談しています。 ●連絡帳でもやり取り、相談できます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	5	5	20	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	32	0	0	12	●契約時に書面と口頭で詳しく説明がありました。 ●苦情を言ったことが無いので分かりません。 ●特にトラブルが無いので分かりません。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見、ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	42	0	1	1	●連絡帳に詳しく書かれているのでよくわかります。 ●連絡帳がありがたいです。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	43	0	0	1	●お手紙やブログの更新でわかりやすいです。
	14	個人情報に十分注意しているか	43	0	0	1	
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	38	2	0	3	●契約時に説明がありました。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	42	0	1	1	●定期的に参加しています。 ●この間あったばかりです。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	43	1	0	0	●とても楽しみにしています。 ●楽しかったといつも言っています。
	18	事業所の支援に満足しているか	43	1	0	0	●とても満足しています。 ●運動の目的をしっかりと果たせるので満足しています。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。